

宮司蓮町遺跡第 2 地点発掘調査

所在地 : 福津市宮司二丁目 6 5 2 番 1、6 5 1 番 2
調査要因 : 宅地造成工事
調査期間 : 令和 6 年 1 2 月 2 5 日～令和 7 年 2 月 1 4 日
調査面積 : 約 1 2 1 m²
調査担当者 : 文化財課文化財係 永島 聡士 春口 将輝

■地理的・歴史的環境

手光今川下流域の沖積地が堆積する平野に位置しており、標高は約 7m である。調査地北側に宮司南田遺跡、西側には宮司志良部遺跡が存在する。宮司蓮町遺跡については、これまでに調査地東側に隣接して発掘調査がおこなわれている。調査の結果、近世の灌漑用水路として使用されたと考えられる大溝遺構が検出され、須恵器・陶磁器片が出土している。

■検出遺構・遺物

【遺構】

溝 2 条、小穴多数

【遺物】

弥生土器、石器（黒曜石鏃、石斧未製品）、不明木材

■所見

調査地中央部に溝状遺構 2 条、調査地南側に小穴が多く分布する。溝状遺構では表土剥ぎ取り時に同遺構検出面周辺で黒曜石製鏃と弥生土器の甕底部片が出土した。

SD-01 は幅約 2.75m、深さ約 0.6m の溝状遺構で、北側が浅くテラス状を呈し、南側が深い。土層観察から、当初南側に深い溝を掘削し、埋没後浅い溝を掘り直したと推測される。遺構埋土上層からは黒曜石と弥生土器片などが出土した。加えて西側の遺構壁面では、溝の底面直上の層から木材が出土しており、杭の可能性が想定される。

SD-02 は、SD-01 の南側に平行して走る幅約 1.1m、深さ約 0.4m の溝状遺構で、断面三角形を呈する。遺構埋土上層で黒曜石製石鏃と弥生土器片が出土した。調査地西側に所在する宮司志良部遺跡でも類似した溝状遺構が検出されており、一連の遺跡群としての関連が予想される。

小穴群は 1 基のピットのみ遺物が出土している。溝状遺構に関連する杭列と想定し、小穴群の遺構掘削をおこなったが、杭の痕跡は確認されていない。



宮司蓮町遺跡第2地点位置図 (S=1/5000)



調査区全景 (真上から)



SD-01 検出状況 (南西から)



SD-02 検出状況 (西から)



SD-01 土層 (南西から)



SD-02 土層（南西から）



SD-01 完掘状況（南西から）



SD-02 完掘状況（南西から）



SD-01 木材出土状況（北東から）



SD-01 木材出土状況（近景・東から）



SD-01 出土木材

令和7年度発掘調査等事業予定

1. 発掘調査事業

遺跡名	事業種別	所在地	調査予定期間	調査要因	備考

※現時点で確定した発掘調査事業なし。

2. 文化財調査報告書作成事業

遺跡名	事業種別	所在地	発掘調査年度	調査要因	備考
蓮鳥遺跡第4地点	受託事業	福岡駅東二丁目	令和6年度	一般開発	
宮司蓮町遺跡第2地点	受託事業	宮司二丁目	令和6年度	一般開発	
上西郷ジョウ古墳	受託事業	日蒔野六丁目	平成25年度	区画整理事業	
手光古墳群大人支群	受託事業	光陽台南	平成7年度	一般開発	
辻遺跡	受託事業	中央五丁目	平成26年度	一般開発	
宮司志良部遺跡第5地点	受託事業	宮司二丁目	平成26年度	一般開発	

天正三年拾月起拾月祭座帳（福岡県指定有形民俗文化財）
の所有者・所在場所変更について

■名称と員数

天正三年拾月起拾月祭座帳	二冊	
附 舍利山縁起 宝永本	一卷	
安政本	一卷	
<u>紙本仙厓筆舍利山関係文書</u>	<u>二幅</u>	※所有者・所在場所変更あり
仙厓書舍利山額	一面	
舍利四十四粒	一箱	
〃 五粒	一箱	

■変更内容

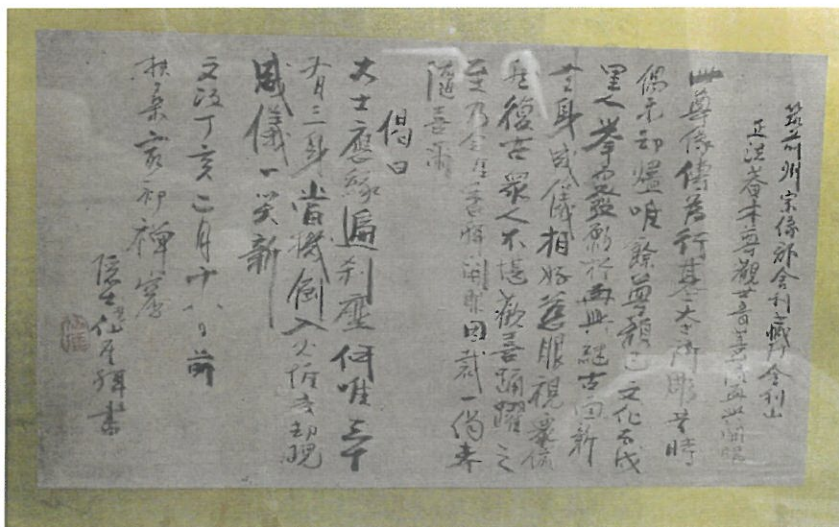
「附 紙本仙厓筆舍利山関係文書 二幅」は舍利蔵に所縁のある個人の所蔵となっていたが、令和7年3月30日付で舍利蔵区に寄贈された。

また二幅のうち一幅は、サイズの的に舍利蔵区での保管が難しいため、令和7年3月30日付で舍利蔵区から福津市へ寄託された。

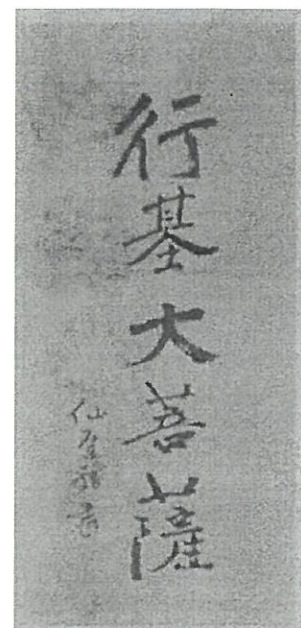
（寄託期間：令和7年3月30日～令和9年3月31日）

この変更に伴い、福岡県に対し、令和7年4月1日付で所有者変更届及び所在場所変更届を提出した。

■変更があった二幅



・舍利山正法庵 本尊観世音菩薩、再興開眼式 一幅
（舍利蔵区所有、福津市に寄託）



・行基大菩薩 一幅
（舍利蔵区所有）

手光波切不動古墳（福津市指定史跡）
の通路の現状について

■名称と員数

手光波切不動古墳（所在地：手光 1615）

■石碑等解体と通路の現状について

現在、石室入口へ向かう通路の脇に大きな石碑と複数の塊石、手水鉢・石灯籠の石材が並べ置かれている。これは、古くに設置され隣接する個人宅地に越境していた大きな石碑等を長谷寺が解体移動したもの（解体移動：令和7年4月1日）。

史跡に影響のない内容ではあるが、史跡地内作業のため文化財課が立会を実施した。

なお、通路脇への石材仮置きに伴い通路が若干狭くなったが、見学等への支障はない。



福間浦盆踊り（福津市選択文化財）の記録作成について

■記録冊子データの目次（案）

『福津市選択文化財 福間浦盆踊り』
緑町盆踊り保存会・南町盆踊り保存会

目次（案）

発刊によせて

・両保存会長連名か
選択文化財答申書画像

盆踊り紹介画像

・踊り、祭壇など

1. 福間浦盆踊りの起源

・伝承としての起源諸説

2. 福間浦盆踊りの推移

（1）緑町 （2）南町 ※実施場所・会場配置含む

3. 出演記録

（1）緑町 （2）南町

4. 唄本資料など

・大正 15 年、昭和 5 年の唄本歌詞
・三味線等楽譜

5. 曲目比較資料等

・比較資料、追加歌詞等

6. 道具

・三味線、太鼓等画像掲載

7. 資料目録

・収集資料の目録

8. 福間浦盆踊り保存会の組織

・組織・人数
・規約

■動画撮影の案

【踊り】

- 場所 緑町・南町公民館（カーテン、壁面など無地に近い背景）
機材 カメラ2台（正面から/横から）： 固定）
踊手 1～2人
衣装 盆踊り大会当日と同じもの
音源 CD など録音から
内容 ① 正面を向いて踊る

①イメージ画面⇒



② 正面を向いて踊る（一巡）→小回りしながら踊る（径2mぐらい）

②イメージ画面⇒



■楽器、譜面 記録作成

- 対 象： 唄い、太鼓、三味線
内 容： 楽器をその場で写真撮影。
譜面をお借りし、その場で写真撮影。